

地域共生社会について

～福祉と地域と行政の連携による福祉実践の取り組み～

日頃より、地域福祉の推進にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ禍により西牟婁圏域自立支援協議会 全体会研修を全体会委員のみに絞り開催してきましたが、今年度より、従来どおりの形に戻し全体会委員に加え、圏域内の障害福祉サービス事業所の職員の皆様にもご参加いただくことになりました。また、今年度においては、身体・知的部会の研修とも兼ねております。

そこで、身体・知的部会では「障害者の高齢化」を課題とし、入所施設や共同生活援助に入居している障害をお持ちの方が、高齢者になった時に今の暮らしを続けていくことが本当に良いのか、さまざまな経験や機会も必要ではないか、と協議を重ねてきました。特別養護老人ホームやサービス付き高齢者住宅を知ることや繋いでいくこともありながら、一方では支援している障害をお持ちの方が、私たちの障害者総合支援法の制度内のサービスから介護保険制度のサービスに移行する、事業所や法人が変わってしまう、支援者が変わってしまうなど、そのハードルが高く、現状通りの暮らしが一番安心できると感じてしまうことがあります。

この地域で障害者施設であっても、特別養護老人ホームであっても、自治体であってもみんなで見守っていただけるように、今回、先駆的に取り組まれている障害・高齢・児童の垣根を越えて、「特別養護老人ホーム」や「在宅複合施設」「障害者就労支援施設ワークセンター」「訪問看護ステーション」を4つの法人で事業展開をされ、地域共生型福祉施設「やすらの里」を京都府北部、与謝野町で展開されていることを身体・知的部会で意見を出し合うことで知ることができたのがきっかけとなり、障害者の就労継続支援や共同生活援助の事業運営をされている、社会福祉法人よさのうみ福祉会理事長 青木 一博 氏にご講演いただきます。

日 時：令和5年9月26日（火）
15時00分～

場 所：和歌山県情報交流センターBig-u
多目的ホール

講 師：社会福祉法人 よさのうみ福祉会

理事長 青木 一博氏



☆お問い合わせ・申し込みは、

裏面



【講師紹介】

☆青木 一博（あおき かずひろ）☆

1951年1月生まれ（72歳）

生まれと育ちはグンゼの発祥地綾部市、18歳から大学生生活4年間を含め11年間を京都市内で過ごす。29歳で結婚、与謝野町へ。1980年4月（無認可）峰山共同作業所職員、1980年社会福祉法人よさのうみ福祉会設立と同時に入職、みねやま作業所事務職員、法人事務局職員を経て、1993年理事就任、障害者福祉センター「夢織りの郷」つむぎ、いきいき施設長、法人本部署務局長を経て、2013年から法人理事長に就任、22か所の事業所で、約300人の職員とともに障害者支援の仕事に取り組む。

○趣味 わが家の有機無農薬米の栽培、グループで地元耕作放棄地でのコメ作り、

ストーブの薪づくり、読書、地酒を毎晩少々嗜む。



☆問い合わせ・申し込み先☆

西牟婁圏域自立支援協議会 事務局

基幹相談支援センターにしむろ 宛

Tel : 0739-33-7492 FAX : 0739-33-7422

E-mail : nishimuro@vm.aikis.or.jp

【申し込み締切】

令和5年9月15日(金)

参加申込書

事業所名	
連絡先	
E-mail	
担当者	

【参加者】

職名	氏名